

LaserNet 200 Series

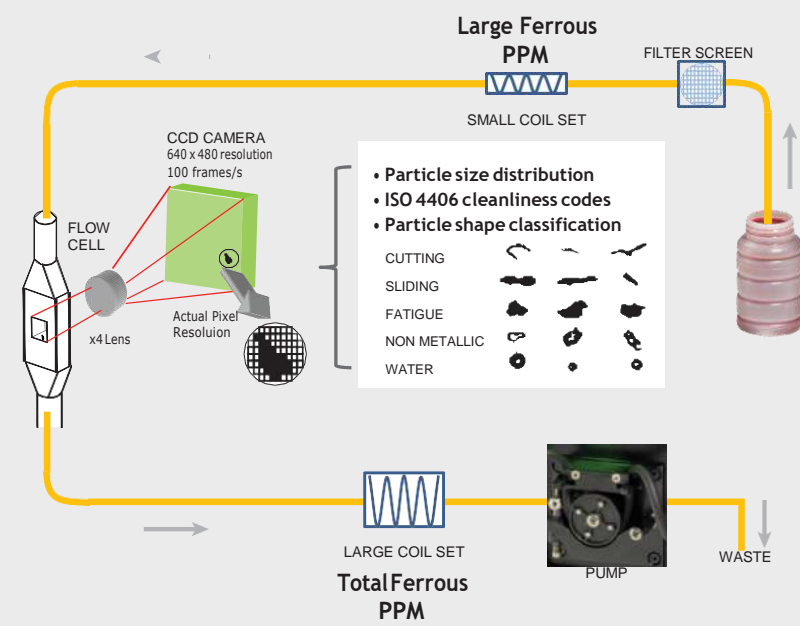
ご使用の流れ

このポスターはレーザーネットパーティクルカウンターのご使用方法をお客様へご参照頂くためにご用意しました。ご使用方法の詳細につきましては、操作マニュアルをご参照願います

Spectro Scientific社ではご使用の試験機を長く快適にご使用頂く為に定期点検の実施を推奨しております。是非サービスエンジニアへご相談ください。 STM



Use Spectro Scientific certified consumables for best instrument performance. Meets system warranty requirements.



日常チェック作業

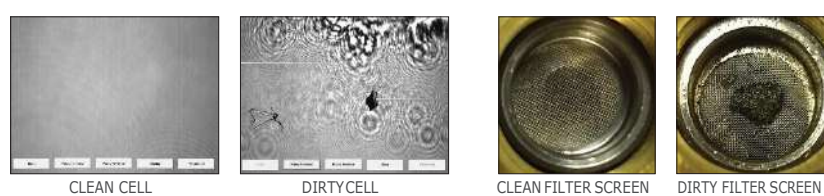
一日のはじめにチェック

- 吸引フィルターの目詰まり
- ポンプランプの取り付とサンプル送り。
- ライブモニターにてセルの汚れ



一日のおわりにチェック

- ライブモニターにてセルの汚れ
- 吸引フィルターの目詰まり
- ポンプランプの取り外し。



サンプル測定の流れ

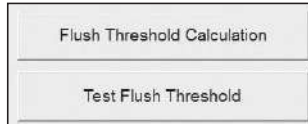
測定の前に

- よくサンプルを振ります。
(比較的新しいオイルは30秒、古いオイルはそれ以上よく振ります)。ボトルはコンタミフリーなクリーンボトルを推奨。
- 超音波洗浄機にて脱気。
泡が消えるまで30秒間。
 - 高粘度サンプルは少し長めに、しかし60以上経つとパーティクルが沈むので注意して下さい。



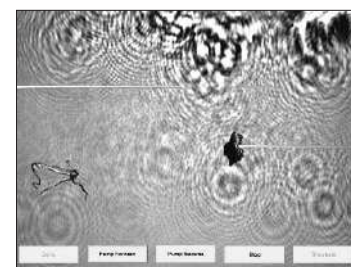
測定の後

- 適切な溶剤を使用して洗浄して下さい。
 - 鉱物油測定時：純正品 Electron 22推奨
ヘプタン・ケロシン (共にフィルター済み)
 - Skydrol/リン酸エステル系測定時にはアセトンのみ
 - 洗浄時の溶剤がクリーネス閾値を設定した溶剤を使用しているか確認して下さい。
- 必要であれば再度閾値調整を行って下さい。



流れずに留まってしまった粒子は強制洗浄を実施

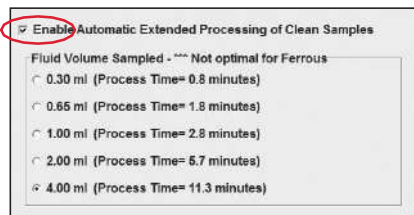
1. フィルターを外します。
2. 100cSt付近の高粘度でクリーンな新油サンプルをポンプにて送ります。
3. 流れを確認します。
4. クリーンな溶剤ボトルに廃液チューブを没します。
5. ポンプを逆流させ、ライブイメージにて流れを確認します。
6. パーティクルがなくなるまで繰り返します。
7. フィルターを取付けます。



コンタミの無いクリーンなサンプルを測定する場合の設定

クリーンなサンプル測定する際は、クリーンサンプルで共洗した後の以下の洗浄条件設定をすることで前のサンプルコンタミを低減出来ます。

- クリーンサンプルプロセスの自動延長洗浄設定へチェック (通常はチェックを外します。)



- 4mlの容量設定を一時的に最大量の4mlへ(通常は少ない量で大丈夫です)
- 使用する溶剤の洗浄度がクリーンサンプル洗浄度以下であること
- 洗浄時のパーティクルチェックが適切な閾値であることを確認してください。



Skydrol サンプルの測定の前 (リン酸エステル/PAG)

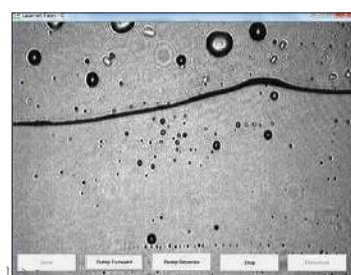
- 内部配管、Oリングがスカイドロールドロップシオン仕様であることをご確認下さい。(Kalrez FFKM仕様)
- 外部配管をSkydrol専用ポンプ配管(ラベル付)へ交換してください。(EPDM仕様)



- 鉱物油の測定に戻る際は、標準タイプの配管へ必ずお戻し下さい。

フローセルに張り付いた水泡の除去

対処。
水泡がガラスセルに張り付いた場合、すぐに水泡の除去を行ってください。



以下の方法をお試し下さい。

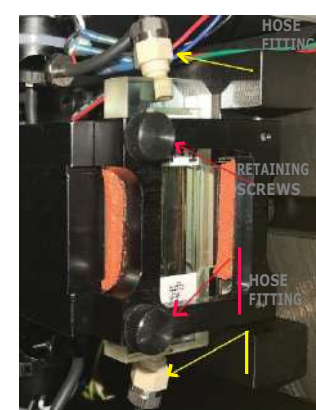
1. イソピルアルコール IPAにて1分間洗浄。
2. アセトンで水泡が消えるまで洗浄(最大2分間)。
3. イソピルアルコールIPAにて1分間洗浄。
4. Electron 22で1分間洗浄。
5. 水泡が消えるまで上記の方法にて繰り返しお試し下さい。

フローセルの交換方法

- クリーニングをしても流れが落ちない場合、フローセルを交換することが可能です。
- 汚れたセルはSpectro Scientific社へ返送し有償洗浄依頼することも可能です。

フローセルの交換手順:

1. 電源を落として右側の外側パネルを外します。
2. 2か所の固定ネジを外しセルの格納ドアを開きます。



3. セルをゆっくりと引き出します。
4. 上下2か所のホースに繋がった継ぎ手を外します。
5. 新しいセルを装着するには逆の手順となります。

詳しくは操作マニュアルをご参照願います。